

住んでてよかった 町づくり

2018年 2月 February もずの里

Succeed
to the
future

未来へ

継ぐ

市制施行60周年 八尾市と交流都市提携

新幹線 奈良市—関西空港ルート構想 五條市に中間駅

財政健全化へ加速

新庁舎基本設計「親しまれる庁舎へ」



未来へ「継ぐ」町づくり

本年度は、五條市制施行60周年記念式典や京奈和自動車道の全面開通、大阪府八尾市との交流都市提携、さらには奈良市付近とするリニア中央新幹線駅と接続し、関西国際空港を結ぶ新幹線ルートが県から示され、五條市を通る計画が発表されました。太田好紀は五條市長として、また未来に「継いで」いく使命のある者として、町づくりを展開してまいります。

「昨秋、市制施行60周年記念式典を開催
光輝く未来へ、皆さまと共に」



写真①五條市制施行60周年記念式典
写真②八尾市と交流都市提携を締結



桂雀太観光大使(平成29年10月就任)
梶本晃司観光戦略アドバイザー(平成28年4月就任)
河合洋見観光大使(平成27年3月就任)
河瀬直美観光大使(平成25年3月就任)

「輝く未来へ、ともに進もう！」をスローガンに、五條市制施行60周年記念式典が昨秋、市民会館で盛大に執り行われました。式典では、大阪府八尾市との交流都市提携締結式や、五條市出身の落語家・桂雀太さんの観光大使任命式などを行いました。

智辯学園生徒による和太鼓演奏で華やかなスタートを切った式典で私は、「100年先までも光輝く未来へ、市民の皆さまと共に進んでいきたい」と、あいさつさせていただきました。

記念講演では「浪花のカリスマ添乗員」と呼ばれる旅行会社添乗員の平田進也さんを講師にトークセッション、五條市の未来について、お話しいただきました。

また合併前の旧大塔村と交流があつた大阪府八尾市と交流都市提携を締結し、今後さらに手を携え、共に町づくりを進めていきたいと考えています。

奈良市—関西空港ルート構想

奈良市新駅から関西空港まで30分

五條市に中間駅

昨年、待望の京奈和自動車道の全面開通が実現し、五條市から橿原市まで13分と、市民の皆さまの生活がさらに便利になりました。またこれにより、企業誘致に対する市の優位性が高まっています。さらに昨年末、荒井正吾奈良県知事は、奈良市付近とされるリニア中央新幹線の駅と関西空港を結ぶ新幹線のルート構想「地図参照」を表明され、五條市に中間駅が設けられる内容となっています。このチャンス人口減の歯止めにしていくべく、さまざまな施策を展開してまいります。

てこなかった。10年後の着工を目指して、リニア中央新幹線と京奈和自動車道の玄関口を整備し、国へ働きかけていきたい」と述べられており、五條市を往来する人口が増加することに期待がかかります。

などにも期待がかかっています。平成6年に工事着手された京奈和自動車道が開通したことに加え、五條市を通る中間駅の設置構想で、五條市が力を入れてきた企業誘致がさらに加速化、活発化することになると考えています。

昨年には京奈和道 往来人口増へさらに期待 御所南—五條北間も開通

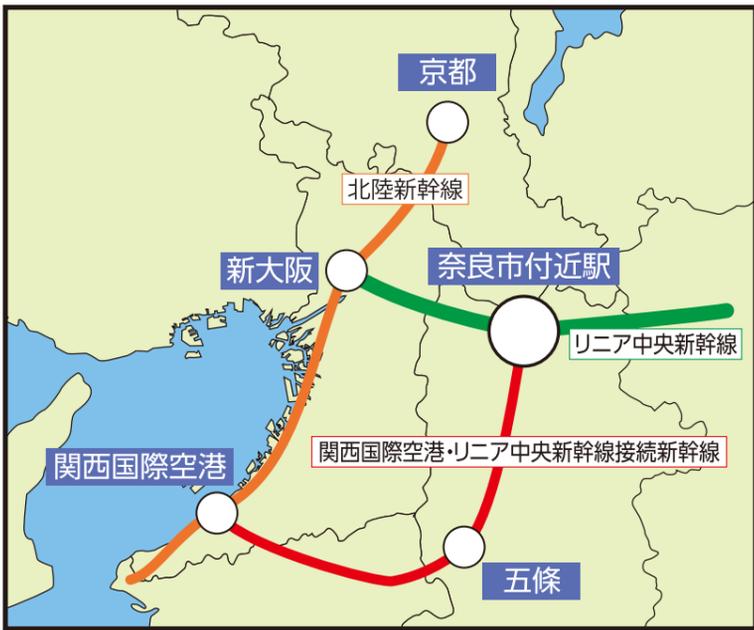
平成23年以降、五條市への企業誘致件数はこれまで5件、さらに3件が内定しており、五條市への流入人口にも大きな変化が起きていると見られます。五條市のトップとして、企業誘致をさらに前進させていくとともに、定住、移住についても施策を積極的に進めていき

たいと考えています。

昨年末に発表されたリニア中央新幹線の奈良市付近の新駅から関西国際空港を30分で結ぶルートでは、五條市に中間駅が設置される構想になっています。

荒井知事は「内陸県としてゲートウェイ(玄関口)の整備がされ

加えて昨年、待望の京奈和自動車道の御所南—五條北間が開通しました。奈良と和歌山の地域間交流、物流の効率化、五條市から橿原市の県立医大までの救急搬送時間の大幅な短縮、さらには五條市に訪れる観光人口の増加

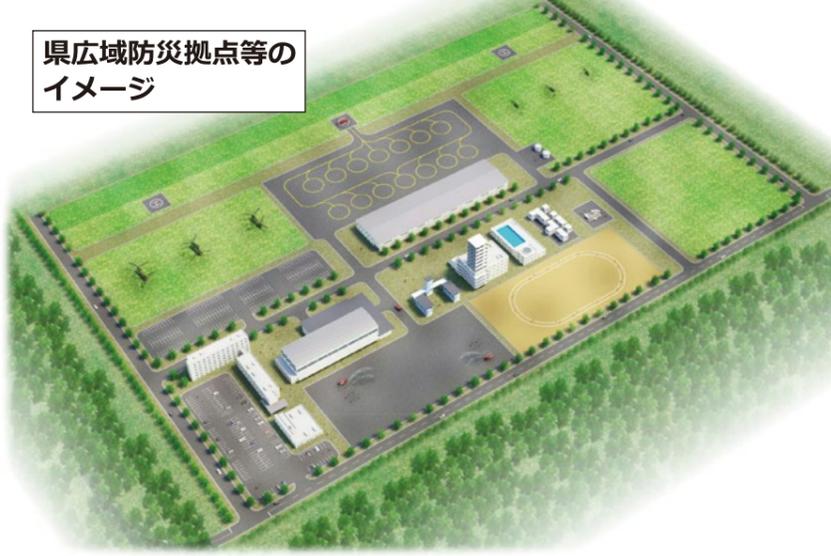


平成34年度、県広域防災拠点の開設を目指して

災害に強い町へ

昨秋は台風21号、22号による被害で計13億6000万円の損害を受け、この復旧に向け速やかに予算を付け全力で取り組んでいくつもりです。

県広域防災拠点等のイメージ



昨秋10月、五條市を台風21号、22号が襲いました。被害に遭われた方に心よりお見舞い申し上げます。市内の被害状況は詳細図参照は、道路や橋、河川の決壊があり、復旧が必要になっています。また日本一を誇る柿をはじめ、農林被害も甚大になっています。被害金額は13億600万円となっており、速やかな復旧のための予算を指示しました。

山間地の多い五條市は近年、水害被害に見舞われることがたびたびあり、防災力の向上が市政の大きな課題の一つになっています。これらの課題に対して県と五條市との「まちづくりに関する包括協定」の中、プレディアゴルフ場周辺に県広域防災拠点を平成34年度に開設することを目指しています。南和地区の防災拠点となる上、将来的には、誘致活動を進めている陸上自衛隊駐屯地の配置などを進めていきます。また7億円(市の実質負担2億

市内の台風21号、22号の被害状況詳細

【平成29年11月9日現在】(件数)				件数(棟数)		
	五條地区	西吉野地区	大塔地区	住宅	非住宅	合計
道路・河川等被害						
市道関連	41	126		1(3)	1(1)	2(4)
林道関連		45	4	0(0)	0(0)	0(0)
下水道関連	1			7(7)	1(1)	8(8)
河川関連	13	11		3(3)	2(2)	5(5)
地区計	55	182	4	11(11)	0(0)	11(11)
地区計	55	182	4	22(24)	4(4)	26(28)

※被害(復旧必要)金額(見込・変更有)

・道路橋梁関係	1,104,770千円
・河川災害復旧関係	189,641千円
合計	1,294,411千円
・下水道関係	4,000千円
・公園施設	8,000千円
合計	1,306,411千円

	柿被害のみ	農作物全体被害
農作物被害	1,425	1,425
樹体被害	19,492	22,156
施設被害	22,46	3,286
土木造成	490,000	501,000
合計	513,163	527,867

※罹災証明発行件数…9件 (千円)
(上記被害は、パイロット地区のみ)

平成31年度建設着手、同33年度から運用開始予定

県内初、国県市集約型庁舎を建設

県内初の国、県、市集約型庁舎(岡口1丁目、五條高校跡地)は平成31年度から建設に着手し、同33年度からの運用開始を予定し、基本設計に取り組んでいます。外観は五條新町の意匠を基調に、親しまれる庁舎の建設を進めています。新庁舎には、ふるさとハローワーク(国)、保健所(県)、五條土木

事務所(同)、南部農林振興事務所(同)と、市役所が入ることになります。▼市民の賑わいや観光・産業の拠点となる親しまれる庁舎▼環境にやさしく周辺環境や地域資源と調和した庁舎▼いつまでも市民から愛される安全・安心な庁舎▼無駄を省いたスリムな庁舎の4つの方針で設計。

南海トラフ大地震に備えた免振構造、山並みのスカイラインに馴染む大屋根、東西面は五條のあかね染を想起させる茜色のルーバーを設置することなどが外観的な特徴になります。また雨水利用をはじめ、自然エネルギーを活用した「エネルギーミニマム」の庁舎となる予定です。

五條市新庁舎の概観イメージ図



親子の交流、相談の場に

イオン五條店 子育て支援センターオープン

五條市今井2丁目のイオン五條店に昨秋、五條市子育て支援センター「はっぴい」がオープンしました。この施設では、保育の一時預かり事業や、地域子育て支援拠点としての場の提供を行っています。

乳幼児を持つ保護者とその子どもが気軽に集い、交流を図れる施設、また相談ができる施設として整備しました。一時預かり事業では、保護者の育児疲れ、病床などで保育が困難な場合、一時預かりを行うほか、遊具を設置し、親子の交流を図ると共に、子育て相談を受け付けており、毎日、多くの方にご利用いただいています。

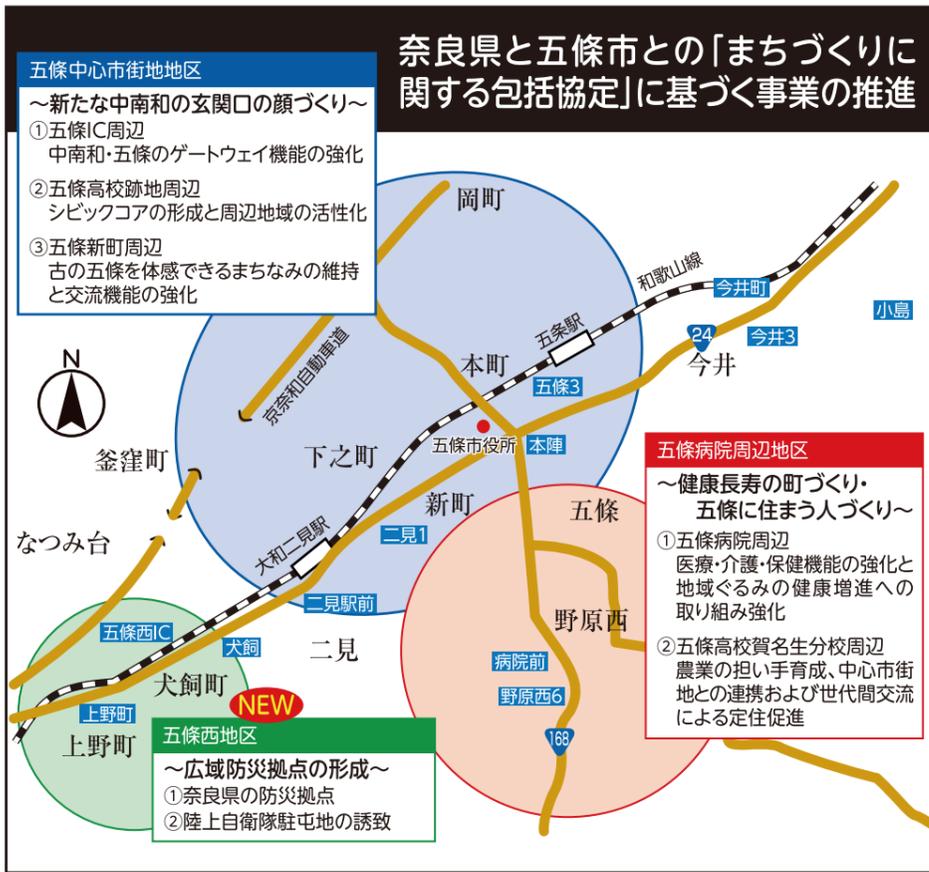
五條市子育て支援センター「はっぴい」

【一時預かり事業】

実施日: 月曜から土曜日(祝日および年末年始を除く)
時間: 午前8時半から午後4時半
対象: 満1歳以上小学校就学前の乳幼児
料金: 4時間以内900円。それ以上は1800円。

【地域子育て支援拠点事業】

実施日: 火曜から土曜日(祝日および年末年始を除く)
時間: ①子育て相談 午前10時から午後6時半
②親子の交流・遊び場 午前10時から午後4時
対象: 小学校就学前の乳幼児およびその保護者



県と五條市との「まちづくりに関する包括協定」

- 五條中心市街地地区
新たな中南和の玄関口に
- 五條病院周辺地区
健康長寿、移住定住促進
- 五條西地区
県の防災拠点、陸上自衛隊駐屯地の誘致

奈良県と五條市が結んだ「まちづくりに関する包括協定」は、市内を3つのエリア＝地図参照＝に分け、特徴ある町づくりを進めていくものです。五條中心市街地地区は新たな中南和の玄関口として、五條病院周辺地区では健康長寿、移住定住促進を進めていき、さらに五條西地区では県の防災拠点、陸上自衛隊駐屯地の誘致に力を入れていきます。

五條中心市街地地区は古くから▼紀州街道▼河内街道▼下街道▼伊勢街道▼西熊野街道が交差し、交通の要所として人の往来を生んできました。また重要文化財や重要伝統的建造物群保存地区など数多くの資源を有しています。これらの価値と個性を、県、市、民間団体の協働でさらに魅力あるものへと創造していきます。

具体的には、市民触れ合い、にぎわいの場となる「行政機関を集約した市民開放型のシビックコア形成」や、五條駅から五條新町、吉野川、大和二見駅を結ぶ周辺地域の回遊演出、五新鉄道や維新発祥など歴史や文化に出会える空間づくりなどを進めていきます。

五條病院周辺地区では、健康増進のための交流の場の提供や、医療機関へ通うための公共交通網の充実を図っていきます。

さらに全国初の取り組みとして、五條高校賀名生分校に寄宿舎を整備し、平成30年度から農業を志す生徒を全国から募集し、市内での農業の担い手を育成して

きます。農業の盛んな五條市への定住者、移住者を促進し、活力ある地域になることを目指します。

五條西地区は、たびたび災害に見舞われてきた歴史がある五條市において、防災力を向上させていく場としての活用を考えていきます。県と共に平成34年度には県広域防災拠点を開設、また「紀伊半島のへそ」として空路でのアクセスが良好な特性を生かし、ヘリポートを併設した陸上自衛隊駐屯地の誘致活動に力を入れていきます。



県から移譲された五條病院看護師寮を五條高校賀名生分校の寄宿舎として整備し、市内の農業の担い手を育成する

持続可能な財政運営を堅持

就任前 (平成22年度末)

借入金残高 421億8000万円
財政調整基金 12億4000万円

就任後 (平成28年度末)

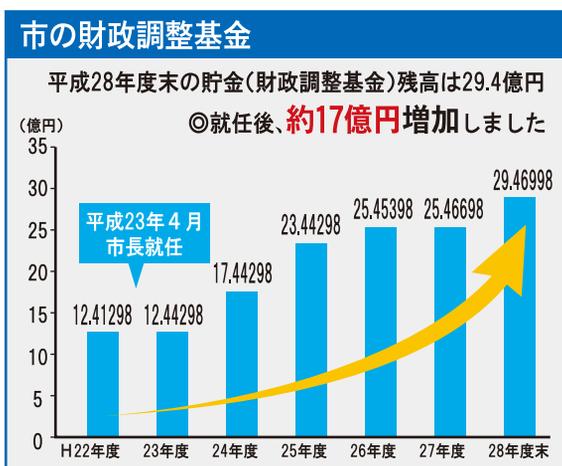
借入金残高 364億2000万円
財政調整基金 29億4000万円

改善額 17億円増
57億6000万円減

五條市の財政状況は、普通交付税における合併算定替えの縮減などにより年々厳しさを増していますが、聖域を設けない事務事業の見直しなどにより、市長就任前と比較して、市の借入金残高を約57億6000万円減少することができました。また、自治体の貯金にあたる財政調整基金は、17億円増の約29億4000万円となりました。

め、市長として、より一層国や県とのパイプを密にし、有利な財源を活用し、次世代に向けて持続可能な財政運営に取り組みしていきたいと考えています。

この間、市政の健全化を図りながら、同時に新たな体育館の建設や、やまのクリーンパーク建設事業などを進めてきましたが、今後も新庁舎建設事業などによる新たな財政負担が必要となるた



【合併算定替え】普通交付税の算定額について、合併後10年間は合併前の旧市町村が存在すると仮定して算定される額が合併後の新市町村としての算定される額を上回る場合は、合併前の算定額で交付され、合併後11年目以降の5年間で段階的に合併後の新市町村で交付される額まで縮減される。



五條市駅伝大会

第60回五條市駅伝大会を開催するにあたり野原中学校で開会式を行いました。



紀伊山系砂防事業促進期成同盟会総会

紀伊山系砂防事業促進期成同盟会総会に出席いたしました。

五條市成人式

今年度は五條市で350人(男性194人、女性156人)の皆さまが新成人を迎えられました。



災害現場視察

昨年の台風21号、22号により被害を受けた災害現場を視察しました。



Facebook やってます

【五條市長の活動日誌】

より早く皆様に活動記録を発信

<https://www.facebook.com/gojo.shicho/>



太田よしのり後援会 事務所

〒637-0230 奈良県五條市西吉野町城戸408-1

TEL.0747-33-0177 FAX.0747-33-9888

E-mail ma63st84ml@kcn.jp

URL <http://oess0700.server-shared.com>

太田よしのりプロフィール

- 平成7年4月 西吉野村議会議員に初当選(33歳)
- 平成11年4月 西吉野村議会議員に2期目当選
- 平成15年4月 西吉野村議会議員に3期目当選
- 平成17年11月 五條市議会議員に当選、通算4期目
- 平成21年11月 五條市議会議員に当選、通算5期目
- 平成23年4月 五條市長に初当選(49歳)
- 平成27年4月 五條市長2期目当選